

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

自家造血幹細胞移植での血小板生着遅延因子と予後への影響

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科 学内准教授 仲宗根秀樹

【研究の対象となる方】

2006年1月から2019年12月の間に、日本造血細胞移植データセンターの移植登録一元管理プログラムに登録している移植施設で、多発性骨髄腫と高悪性度リンパ腫に対して初回の自家造血幹細胞移植を行った16歳以上の患者さんです。

【研究の目的・方法】

多発性骨髄腫や悪性リンパ腫の治療で、自家造血幹細胞移植を行うことがあります。大量化学療法を行って腫瘍をできる限り少なくし、その後に自家細胞を移植することで血球回復が得られる治療法ですが、血球回復のスピードには個人差があります。なぜそのような差が起きるのか、血球回復がその後の予後にどのように影響するのかは現在明らかになっていません。移植データを解析することでこれらを明らかにするとともに、適切な移植細胞数についての検討を行います。

【研究に用いる試料・情報の種類】

日本造血細胞移植データセンターから情報提供を受けます。

【外部への試料・情報の提供】

なし

【研究組織】

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科

【研究期間】

この研究の期間は、許可決定後から2024年12月31日までです。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料の内容をお伝えすることが出来ますのでお申出ください。

また、情報は日本造血細胞移植データセンターより個人が特定できない形で提供を受けますので、仮に情報漏洩が発生した場合でも不利益が生じることはありません。何かございましたら下記の連絡先までお申し出ください。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

Tel.048-647-2111

研究担当者：血液科 仲宗根秀樹

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター

総務課 Tel.048-648-5225